2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　バーチャレクス・ホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　6193　　ＵＲＬ　https://www.vx-holdings.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）丸山　栄樹
問合せ先責任者　（役職名）取締役　経営管理本部長　（氏名）黒田　勝　　ＴＥＬ　03-3578-5300

半期報告書提出予定日　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　有

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	3,402	2.2	214	110.5	208	56.8	125	25.1
2026年３月期中間期	3,329	6.4	101	144.1	132	－	100	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　124百万円（22.2%）　2026年３月期中間期　102百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	44.22	43.79
2026年３月期中間期	35.60	35.39

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	3,571	1,742	47.7
2026年３月期	3,773	1,660	43.0

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　1,705百万円　2026年３月期　1,622百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	15.00	15.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	1.7	410	3.9	400	△9.7	260	－	91.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．９「２.中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	3,009,553株	2026年３月期	3,009,553株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	176,229株	2026年３月期	176,229株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	2,833,324株	2026年３月期中間期	2,814,529株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、決算説明会を開催する予定です。決算説明会（動画）及び決算説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（重要な後発事象） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、個人消費や設備投資が持ち直しつつある中、緩やかな回復が続くことが期待されています。一方で、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスク、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に注意が必要と思われます。

このような状況の下、当社グループではテクノロジーを基盤として、バーチャレクス・コンサルティングはＣＲＭをビジネスのドメインに、タイムインターメディアはＷｅｂ、文教・教育、ＡＩなどをビジネスのフィールドとして、当社グループの持つコンサルティング、テクノロジー、オペレーションのケイパビリティを融合させ、ワンストップ伴走型でトータルな支援を継続して行ってきました。

その結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高3,402,024千円（前年同期比2.2%増）、営業利益214,079千円（前年同期比110.5%増）、経常利益208,510千円（前年同期比56.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益125,296千円（前年同期比25.1%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

ＩＴ&コンサルティング事業は、当第１四半期から稼働率が堅調に推移するとともに、成長戦略と位置付けるＡＩを中核としたサービス・事業展開も順調に拡大しております。

その結果、売上高は2,069,114千円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益は511,647千円（前年同期比26.4%増）となりました。

アウトソーシング事業は、旧来型案件の一部で顧客都合による契約縮小等が発生したため前年同期比で減収減益となりました。一方で、ＡＩコールセンター受託に向けた体制整備は進みつつあります。

その結果、売上高は1,332,909千円（前年同期比7.7%減）、セグメント利益は242,842千円（前年同期比5.9%減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より202,437千円減少し、3,571,550千円となりました。これは主に、ソフトウエア仮勘定が74,077千円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が276,294千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末より284,912千円減少し、1,829,002千円となりました。これは主に、前受金が84,625千円増加した一方で、未払金が89,106千円、未払消費税等が150,682千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益125,296千円を計上したこと、配当金の支払により42,499千円減少したこと等により、前連結会計年度末より82,475千円増加し、1,742,547千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末と比べ56,984千円増加し、中間期末残高は1,426,889千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得た資金は、243,802千円（前年同期は343,254千円の収入）であります。これは主に、税金等調整前中間純利益208,510千円の計上、売上債権の減少額276,294千円による資金の増加があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、78,045千円（前年同期は173,846千円の支出）であります。これは主に、無形固定資産の取得による支出74,077千円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、108,772千円（前年同期は106,996千円の支出）であります。これは主に、配当金の支払額42,412千円、長期借入金の返済による支出66,360千円があったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年５月13日の2026年３月期 決算短信〔日本基準〕（連結）で公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,369,905	1,426,889
受取手形、売掛金及び契約資産	1,351,801	1,075,506
仕掛品	812	1,615
前払費用	160,066	151,589
その他	6,393	11,078
流動資産合計	2,888,980	2,666,679
固定資産		
有形固定資産	75,622	69,166
無形固定資産		
ソフトウエア	116,095	72,923
ソフトウエア仮勘定	286,183	360,260
電話加入権	3,820	3,820
無形固定資産合計	406,099	437,005
投資その他の資産		
投資有価証券	156,788	155,069
その他	251,410	248,543
貸倒引当金	△4,914	△4,914
投資その他の資産合計	403,284	398,698
固定資産合計	885,006	904,870
資産合計	3,773,987	3,571,550
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,247	101,768
短期借入金	500,000	500,000
１年内返済予定の長期借入金	127,720	112,720
未払金	326,832	237,725
未払費用	68,415	76,501
未払法人税等	83,721	86,418
未払消費税等	198,562	47,879
未払事業所税	6,493	3,246
前受金	99,651	184,277
預り金	53,494	46,920
賞与引当金	208,125	194,401
流動負債合計	1,825,263	1,591,859
固定負債		
長期借入金	276,920	225,560
その他	11,731	11,583
固定負債合計	288,651	237,143
負債合計	2,113,914	1,829,002

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	619,594	619,594
資本剰余金	323,148	323,148
利益剰余金	804,903	887,699
自己株式	△155,289	△155,289
株主資本合計	1,592,358	1,675,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,342	30,021
その他の包括利益累計額合計	30,342	30,021
新株予約権	37,372	37,372
純資産合計	1,660,072	1,742,547
負債純資産合計	3,773,987	3,571,550

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,329,310	3,402,024
売上原価	2,537,010	2,504,870
売上総利益	792,300	897,153
販売費及び一般管理費	690,597	683,073
営業利益	101,702	214,079
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,129	2,189
助成金収入	8,315	603
投資事業組合運用益	26,774	－
業務受託料	1,259	804
その他	407	601
営業外収益合計	37,886	4,197
営業外費用		
支払利息	6,192	7,277
投資事業組合運用損	－	1,577
支払手数料	450	450
その他	－	461
営業外費用合計	6,642	9,766
経常利益	132,946	208,510
特別利益		
固定資産売却益	2,439	－
新株予約権戻入益	10,071	－
特別利益合計	12,511	－
税金等調整前中間純利益	145,457	208,510
法人税等	45,269	83,214
中間純利益	100,188	125,296
非支配株主に帰属する中間純利益	－	－
親会社株主に帰属する中間純利益	100,188	125,296

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	100,188	125,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,059	△321
その他の包括利益合計	2,059	△321
中間包括利益	102,247	124,975
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	102,247	124,975
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	145,457	208,510
減価償却費	57,952	53,118
新株予約権戻入益	△10,071	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△28,195	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	18,008	△13,724
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△10,660	－
受取利息及び受取配当金	△1,129	△2,189
支払利息	6,192	7,277
支払手数料	450	450
投資事業組合運用損益（△は益）	△26,774	1,577
売上債権の増減額（△は増加）	243,391	276,294
棚卸資産の増減額（△は増加）	1,452	△802
仕入債務の増減額（△は減少）	△36,331	△50,478
未払消費税等の増減額（△は減少）	42,214	△150,682
預り金の増減額（△は減少）	2,970	△6,573
その他	35,713	6,894
小計	440,639	329,673
利息及び配当金の受取額	1,129	2,189
利息の支払額	△6,192	△7,277
手数料の支払額	△450	△450
法人税等の支払額	△91,872	△80,333
営業活動によるキャッシュ・フロー	343,254	243,802
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,620	△3,490
無形固定資産の取得による支出	△76,516	△74,077
投資有価証券の取得による支出	△100,322	△327
投資事業組合からの分配による収入	14,492	－
敷金及び保証金の差入による支出	△1,168	－
保険積立金の積立による支出	△149	△149
その他	2,439	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△173,846	△78,045
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△66,360	△66,360
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,438	－
配当金の支払額	△42,074	△42,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,996	△108,772
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	62,410	56,984
現金及び現金同等物の期首残高	1,365,456	1,369,905
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,427,866	1,426,889

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前中間純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,885,174	1,444,136	3,329,310	3,329,310
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	1,885,174	1,444,136	3,329,310	3,329,310
セグメント利益	404,921	258,157	663,078	663,078

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	663,078
全社費用（注）	△561,376
中間連結損益計算書の営業利益	101,702

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,069,114	1,332,909	3,402,024	3,402,024
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	2,069,114	1,332,909	3,402,024	3,402,024
セグメント利益	511,647	242,842	754,490	754,490

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	754,490
全社費用（注）	△540,410
中間連結損益計算書の営業利益	214,079

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．配当金支払額

(決　議)	株式の種類	配当金の総額(百万円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年６月26日定時株主総会	普通株式	42	15	2025年３月31日	2025年６月27日	利益剰余金

２．基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．配当金支払額

(決　議)	株式の種類	配当金の総額(百万円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2026年６月25日定時株主総会	普通株式	42	15	2026年３月31日	2026年６月26日	利益剰余金

２．基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2026年11月12日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第１６５条第３項の規定により読み替えて適用される同法第１５６条の規定に基づき自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議いたしました。

１．自己株式の取得を行う理由

機動的な資本政策を実施することで、株主の皆様への利益還元および資本効率の向上を実現するため。

２．取得の方法

本日(2026年11月12日)の終値(最終特別気配を含む)1,045円で、2026年11月13日午前８時４５分の東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ＴｏＳＴＮｅＴ－３)において買付けの委託を行います(その他の取引制度や取引時間への変更は行わない。)。

当該買付注文は当該取引時間限りの注文とします。

３．取得の内容

(１)取得する株式の種類　　当社普通株式

(２)取得する株式の総数　　105,000 株(発行済株式数(自己株式を除く)に対する割合3.7%)

(３)取得価額の総額　　109,725,000円

(４)取得結果の公表　　2026年11月13日午前８時45分の取引時間終後に取得結果を公表します。

(注１)当該株数の変更は行いません。なお、市場動向等により、一部又は全部の取得が行われない可能性もあります。

(注２)取得予定株式数に対当する売付注文をもって買付けを行います。

なお、本自己株式取得にあたっては、株主から合計100,400株の売却意向を確認しております。

(ご参考)2026年９月30日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数（自己株式を除く） 2,833,324株
自己株式数 176,229株